

ワイヤレス肺活量センサ

GDX-SPR (Go Direct)

Cat. No. E31-8200-29



このたびはナリカ製品をご購入いただきありがとうございます。

本製品を正しく、安全にお使いいただくため、ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みください。

また、この説明書は必要な際に閲覧できるように保管をしてください。

目次

安全上の注意.....	2
警告 死亡、又は重傷を負う可能性がある内容.....	2
注意 軽傷を負う、又は物的損壊の可能性のある内容.....	2
はじめに.....	2
本製品の目的と特徴.....	2
製品仕様等.....	3
各部名称.....	3
各部説明.....	3
製品仕様.....	4
センサの測定項目（センサチャンネル）.....	4
使い方.....	5
操作手順.....	5
1.実験前の準備.....	5
2.実験時の操作.....	5
3.実験後の操作.....	6
4.その他の操作.....	6
5.保管方法.....	7
困ったとき.....	7
故障かな？と思ったら.....	7

安全上の注意

⚠ 警告 死亡、又は重傷を負う可能性がある内容

- 分解・修理・改造を行わないでください。火災・感電及び製品の破損等の可能性があります。
 - 水をかけたり、濡れた状態で使わないでください。ショートや感電の可能性があります。
 - スリットなどから針金等の異物を差し込まないでください。感電や破損の可能性があります。
 - 異常・故障を感じたときは使用しないでください。
- 修理等に関しては弊社販売店又は本書に記載されたサポートセンターまでお問い合わせください。
- 実験を行う前に必ず指導者から生徒・児童に向けて操作方法等の説明を行ってください。

⚠ 注意 軽傷を負う、又は物的損壊の可能性がある内容

- 実験の際は必ず指導者が立会い、生徒・児童のみで使用させないでください。
- 落下や強い衝撃を与えないでください。
- 長期保管の前後には製品の状態を確認し、異常が見られた場合は使用を中止してください。
- 耐水性はありませんので、水に浸したり、濡れた状態で使わないでください。
- 内部のバッテリーの劣化を避けるため、高温や直射日光が当たる位置を避けて保管してください。

はじめに

本製品の目的と特徴

Go Direct シリーズのワイヤレスセンサはBluetooth または USB でパソコンやタブレット、スマートフォンなどの端末と接続できます。

この肺活量センサは、人間の呼吸測定ができるセンサです。流速、体積、呼吸数などを計測できます。

主な実験例

- 呼吸パターンの比較
- 一回の肺活量の測定
- 肺機能の分析

この製品を使用するには専用ソフト「Graphical Analysis」をインストールしたパソコン、タブレット、スマートフォンが別途必要です。Graphical Analysis ソフトウェアのインストールについては別紙の「Graphical Analysis ソフトウェアについて」の説明書、または弊社ウェブサイトをご参照ください。

- ソフトウェアインストールについて <https://www.rika.com/go-direct/software>



このセンサは教育で使用するために設計されています。産業、医療または商用で用いるデータや法律準拠のためのデータの測定には使用しないでください。

製品仕様等

※製品仕様は改良などのため変更される場合があります。ご了承ください。

各部名称



フィルター



マウスピース



ノーズクリップ

各部説明

【電源スイッチ】

電源の入切時にこのスイッチを使用します。

オン：短押し オフ：長押し（約 3 秒）

【ステータス LED】

本製品の動作状況をステータスライトで確認できます。

【ノーズクリップ】

鼻孔からの空気の漏れを抑えることができます。

【マウスピース】

使い捨てのマウスピースです。フィルターと合わせて使用してください。

【フィルター】

本体の汚れを抑えるためのフィルターです。

製品仕様

【構成内容】

- Go Direct 肺活量センサ（1 台） ●ノーズクリップ（3 個） ●マウスピース（3 個）
- フィルター（1 個） ●micro USB ケーブル（1 本） ●取扱説明書

【センサ仕様】

測定項目	流量、体積、差圧、呼吸数
測定範囲	流量：±10L/s 差圧：±500Pa
寸法	フローヘッド 容積：41mL、φ29,5mm×82mm 素材：ABS
動作環境温度	20～40℃
動作環境湿度	5～95%
接続	USB2.0 または Bluetooth4.2
最大無線範囲	30m
電源	650mA リチウムイオン電池
バッテリー駆動時間（フル充電の場合）	24 時間

センサの測定項目（センサチャンネル）

肺活量センサは、6 つの測定項目から選択ができます。実験に合わせて使用してください。

接続されたデバイス

✱ GDX-SPR 111005L6 ○

切断

▼ センサチャンネル 流速, 体積 [-]

- ☒ 流速
- ☒ 体積
- ☐ 差圧
- ☐ 調整済みボリューム
- ☐ サイクルボリューム
- ☐ 呼吸数

【流速】

通過する呼気の流量を測定します。単位は、[L/s]です。

デフォルトで選択されています。

【体積】

通過する呼気の体積を測定します。単位は、[L]です。

デフォルトで選択されています。

【差圧】

圧力差を測定します。単位は、[Pa]です。

【呼吸数】

1 分間の呼吸数(BPM)を計算します。サンプリングレートは 30 秒です。

10 秒毎に値が更新されます。

使い方

操作手順

1. 実験前の準備

【はじめて使用する】

十分に充電してから使用してください。付属のケーブルを USB ポートに接続し、コンピュータの USB ポート・セルフパワータイプの USB ハブ・300mA 以上で 5V を出力する USB 充電器などに接続して充電を行います。

充電中 LED は青色に点灯します。充電が完了すると青色の LED はオフになります。

満充電には通常 2 時間程度の時間がかかります。

【充電仕様】

USB 電源の推奨出力 : 5V、300mA 以上

満充電までにかかる時間 : 約 2 時間

※ 充電ケーブルの脱着時、自動的に電源が入ります。実験を行わない場合、充電後に保管する際には電源を切ってください。

※ コンピュータに接続して充電する場合、コンピュータの電源が OFF またはスリープモードに入ると、充電されません。

※ リチウムイオン充電電池の特性上、完全放電はしないように注意してください。すぐに充電残量がなくなってしまう場合には充電電池の劣化が考えられます。修理品として工場で充電電池を交換いたします。購入された販売店またはナリカ サポートセンターにお問い合わせください。

【ソフトウェアのインストール】

お使いのパソコン、タブレットまたはスマートフォンに「Graphical Analysis」をインストールします。ソフトウェアの入手方法および操作方法については、別紙の「Graphical Analysis ソフトウェアについて」の説明書を参照してください。

2. 実験時の操作

【電源オン・オフ】

電源を入れるときは、ボタンを 1 回押してください。電源が入っているときは、赤い LED が点滅します。

ボタンを 3 秒以上長押しする、または未接続状態で 5 分経過すると電源が切れます。

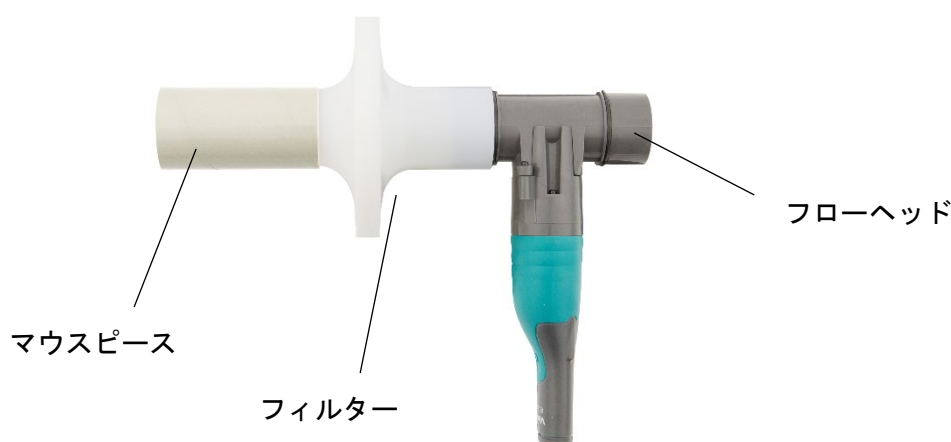
【接続方法】

1. 電源ボタンを 1 回押してセンサをオンにします。ステータス LED が赤色に点滅します。
2. Graphical Analysis を起動します。

3. 「データ収集」をクリックまたはタップします。
4. 「見つかったワイヤレスデバイス」のリストから Go Direct センサをクリックまたはタップします。
本製品には個体ごとに 8 桁の識別番号が割り当てられています。コンピュータに接続した際に接続しているセンサをこの識別番号で見分けます。（例：GDX-SPR ○○○○）
5. 接続に成功すると、ステータス LED が緑色に点滅します。
6. 「完了」をクリックまたはタップして、データ収集モードに入ります。

【測定方法】

1. 鼻クリップを使用して、口から呼吸しているだけであることを確認します。
2. フィルターとマウスピースを、フローヘッドの「INLET」とラベルされた側に接続します。
3. 垂直に肺活量センサを持ち、マウスピースから息をはきます。
4. Graphical Analysis の測定画面より、「収集」を選択し、データを収集します。



3. 実験後の操作

【接続解除の方法】

実験が終わったらセンサアイコン（画面右下）を選択し「切断」を選択します。

4. その他の操作

【他のデバイスやワイヤレスセンサの追加方法】

USB 接続デバイスは自動的に追加されます。

Bluetooth または Wi-Fi 接続のデバイスはセンサアイコン（画面右下）を選択し、「見つかったワイヤレスデバイス」のリストから接続したデバイスの「接続」ボタンを選択します。

【USB で接続する場合】

USB ポートのあるパソコンなどのデバイスと付属の USB ケーブルで接続します。Graphical Analysis を起動すると自動的に認識されます。

5. 保管方法

センサを長時間保管するには、ボタンを3秒以上長押しして電源オフにします。数ヶ月間、バッテリーは放電しますが、破損することはありません。このようにして保管した後、数時間充電すれば、本機は使用可能な状態になります。

35℃以上の温度にさらすと、バッテリーの寿命が短くなります。なるべく、極端な温度にならない場所に保管してください。

困ったとき

故障かな？と思ったら

現象	対処方法
Bluetooth 接続が切断され、再接続できない	1. Graphical Analysis ソフトウェアを一度閉じ、再度開いて接続し直す。 2. Graphical Analysis ソフトウェアを閉じ、センサの電源を一度切って再度電源を入れる。Graphical Analysis ソフトウェアを再度開いて接続し直す。 3. センサと PC を手動で直接ペアリングした場合、接続エラーがでる可能性があります。まず PC とのペアリングを解除し、アプリで Bluetooth 接続してください。

※ 上記の対処を行っても問題が解決しない場合には、ナリカ サポートセンターまでご連絡ください。

以下の情報をご用意いただくとよりスムーズに問題解決策をご提示できます。

- ・使用しているコンピュータの OS の種類とバージョン
- ・ソフトウェアのバージョン
- ・発生している現象

